

淀川舟運・枚方浜(問屋浜)跡

Former Site of Hirakata-hama [Wharf] (Toiya-hama), Yodogawa River Ship Transportation

過書船と伏見船の船番所

Ship Guard Stations for Kasho-bune Ships and Fushimi Ships

通行手形を持つ特権川船のことを過書船と称し、享保初年(1716)には、乗客を主とした三十石船 671 艘、貨物運送を主とした二十石船 507 艘が、大坂と京・伏見の間を航行していました。

一方、過書船の営業独占に対抗して、元禄 11 年(1698)に伏見船の営業が認められたため、両者は激しく競合しました。泥町村には過書船・伏見船の船番所がそれぞれ設置され、淀川を上下する船を監視しました。

三十石船とくらわんか舟

30-Koku Ship and Kurawanka Boat

三十石船は船頭 4 人、乗客定員 28 人で、伏見から大坂への下りは半日か半夜、上りは竿をさしたり、綱を引いて船を曳き上げるため、一日か一晚を要しました。

船客相手に飲食物を商う煮売茶舟は、「餅くらわんか、酒くらわんか」という売り言葉から俗に「くらわんか舟」と呼ばれました。

English guide

한국어 안내

中文 指南

